

平成27年度活動報告

(総括と方針)

平成27年度(2015年)は、障害者総合支援法施行3年後の見直しにあたり、会員施設と連携しながら調査研究、それを推進するために取り組んできました。6月20、21日に総会を開催し、当協議会の規模に合った組織の再編等の会則改正、事業報告や決算書、役員体制等の承認をいただきました。報酬改定への対応と課題については、7月14日に厚生労働省と要望懇談を行いました。10月30、31日の施設長会議では浦和大学総合福祉学部の寺島彰教授には「重複障害者福祉制度のあるべき姿―聴覚・ろう重複障害関係を中心に―」をテーマに講演していただき、学習交流を深めました。2016年1月25日に全日本ろうあ連盟をはじめ関係団体とともに厚生労働省担当部署と懇談を行いました。他に聴覚・ろう重複障害者の支援等の質の向上のための各種研修会を開催しました。その1つ、第11回小規模作業所学習交流会は、全国聴覚・ろう重複児施設協議会主催の第2回研修会と合同で行いました。

この1年間、国は社会福祉法、障害者総合支援法、児童福祉法など多くの法律を改正しましたが、福祉に携わる人材育成や確保、高齢障害者の生活の場、入所支援施設の方向性などの積み残した課題が少なくありません。これらの課題は多面にわたる議論の時間を多く要しますが、平成28年度は、協議会の20年の歴史と成果を振り返りつつ、今後の聴覚・ろう重複障害者福祉の充実と発展のために20周年記念大会を開催します。そして、現状の課題を整理し、制度の改善に向けた裏付けとなる調査研究を行います。ガイドブック作成については引き続き検討していきます。

設立当時(1996年)9施設から始まり、今年度も3施設(宮城、鳥取、愛知)が新しく加わり、現在の会員数は48施設となりました。総合的な力をもつ頼りがいのある会員施設数を拡大しつつ、ブロック活動の推進につながるができる各種研修会は1つの地域に偏ることがないように各地で開催し、会員施設の枠を超えた実践交流を行っていきます。

最後に2016年4月14日に熊本地方での大震災が起きました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当協議会としては、聴覚・ろう重複障害者が孤立していないかなどの被災地に関する情報を収集し、支援方法を探ってきましたが、聴覚・ろう重複障害者施設が熊本にはなく、様々な課題が浮かび上がりました。被災の聴覚・ろう重複障害者への理解を各自治体などに求めるだけでなく、被災者でもある支援者及び施設を支援する施策も重要だと感じました。日頃からの会員施設との連携を行い、小規模作業所学習交流会等を通じて小規模事業所の運営や創設への支援に引き続き努めてまいります。



平成27年度総会の様子

1. 会議・研修等

(1) 平成 27 年度総会の開催

- ◇期 日：平成 26 年 6 月 20 日（土）～21 日（日）
- ◇主 管：ふれあいの里どんぐり
- ◇会 場：さいたま市民会館うらわ（埼玉県）
- ◇内 容：平成 26 年度活動報告および収支決算、監査報告
平成 27 年度活動計画および収支予算

(2) 第 18 回施設長会議

- ◇期 日：平成 27 年 10 月 30 日（金）～31 日（土）
- ◇会 場：京都府聴覚言語障害センター（京都府）
- ◇主 管：就労支援センター「みなみかぜ」
- ①22 人（17 施設）
- ②『重複障害者福祉制度のあるべき姿—聴覚・ろう重複障害関係を中心に—』
講師：浦和大学総合福祉学部教授 寺島 彰氏
- ③実践報告・意見交換
京都市聴覚言語障害センター施設福祉部の直面している課題
第 2 あおぞら就労支援事業所 山崎 伸治氏
65 歳の壁 聴覚・ろう重複センター桃 伊藤久枝氏



京都府聴覚言語障害センターの様子

(3) 役員会

ア 第 1 回役員会

- ◇期 日：平成 27 年 6 月 20 日（土）
- ◇会 場：さいたま市民会館うらわ
- ◇参加者数：6 名
- ◇内 容：1. 総会について
2. 厚労省への要望について
3. 施設長会議について

4. その他

イ 第2回役員会

- ◇期 日：平成27年10月30日（金）
- ◇会 場：京都府聴覚言語障害センター（京都府）
- ◇参加者数：8名
- ◇内 容：1. 施設長会議について
2. 厚生労働省の要望について
3. 20周年記念大会について

(4) 事務局

- ア 協議会のHP管理 <http://tukusi.org/zenrou.html>

イ 会員施設へ連絡や情報発信

ウ 厚生労働省との懇談

- ◇期 日：平成27年7月14日（火）
- ◇会 場：厚生労働省
- ◇内 容：要望について
- ◇出席者：会長 渡邊健二 副会長 河合めぐみ 顧問 柴田浩志

エ 日本聴力障害新聞年賀広告掲載

(5) 関係機関・団体との連携

- ア 京都府聴覚言語障害センター開所式
 - ◇期 日：平成27年5月17日（日）
 - ◇会 場：京都府聴覚言語障害センター（京都府）
 - ◇出席者：会長 渡邊健二

イ 北摂聴覚障害者センターほくほく開所式

- ◇期 日：平成27年5月23日（日）
- ◇会 場：吹田市交流活動館（大阪府）
- ◇出席者：会長 渡邊健二

ウ 平成27年度全国盲重複障害者福祉施設研究協議会施設長セミナー

- ◇期 日：平成27年6月3日（水）
- ◇会 場：ザ・クレストホテル立川（東京都）
- ◇出席者：副会長 河合めぐみ

エ 全国聴覚障害者情報提供施設協議会第11回（通算23回）施設大会

- ◇期 日：平成27年6月3日（水）

◇会 場：西の雅 常盤（山口県）

◇出席者：会長 渡邊健二

オ 第 63 回全国ろうあ者大会・開会式典

◇期 日：平成 27 年 6 月 14 日（日）

◇会 場：ヤマダグリーンドーム前橋（群馬県）

◇出席者：副会長 河合めぐみ

カ ほほえみ設立 10 周年記念式典・祝賀会祝電

◇期 日：平成 27 年 7 月 20 日（日）

◇会 場：（北海道）

キ「第 19 回全国聴覚障害者福祉研究交流集会」協賛

◇期 日：平成 27 年 11 月 21 日～22 日

◇会 場：神戸市勤労会館（兵庫県）

ク 社会福祉法人全国手話研修センター評議員会

◇期 日：平成 28 年 2 月 7 日（日）

◇会 場：全国手話研修センター（京都府）

◇出席者：顧問 柴田浩志

ケ 全日本ろうあ連盟「福祉基本政策検討プロジェクトチーム」

◇期 日：平成 27 年 11 月 2 日（水）平成 28 年 2 月 3 日（水）平成 28 年 5 月 24 日（火）

◇会 場：全日本ろうあ連盟京都事務所（京都府）

◇内 容：みずほ財団助成事業

厚生労働省への要望

◇出席者：顧問 柴田浩志

コ 厚生労働省との 5 団体統一要望懇談会

◇期 日：平成 27 年 7 月 22 日（水）

◇会 場：厚生労働省

◇内 容：統一要望について

◇出席者：副会長 河合めぐみ

サ 厚生労働省との 5 団体勉強会

◇期 日：平成 28 年 1 月 25 日（月）

◇会 場：厚生労働省

◇内 容：視覚・聴覚障害者支援体制加算の適用拡大等について

◇出席者：会長 渡邊健二

2 専門部活動報告

(1) 研修部

ア 第19回主任会議

◇期 日：平成27年12月12日（土）～13日（日）

◇会 場：埼玉県障害者交流センター（埼玉県）

◇主 管：ふれあいの里・どんぐり

①23名

②講演『権利擁護の観点から障害者虐待を考える』

講師 平野方紹（立教大学コミュニティ福祉学部教授）

③実践報告・情報交換

『虐待の起きない環境・職員集団作りのために各施設で取り組んでいること』

イ 第16回全国福祉施設聴覚障害職員会研修会

※全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会との共催

◇期 日：平成28年2月6日（土）～7日（日）

◇会 場：京都府聴覚言語障害センター（京都府）

◇主 管：いこいの村聴覚障害職員会

①34名（全ろう重複協18名、全高齢協6名、全情提協10名）

②講演『京都府聴覚言語障害センター設立の経過と今後の展望』

講師 柴田浩志（京都府聴覚言語障害センター所長）

講演『障害福祉を取り巻く制度的な前身から 聴覚障害福祉の向上を目指して』

講師 松本正志（全日本ろうあ連盟福祉労働委員会委員長）

③ワークショップ

『職場で頑張っていること、課題、解決策』

『地域で頑張っていること、課題、解決策』

(2) 小規模対策部

ア 第12回小規模施設学習交流会

※全国聴覚・ろう重複児施設協議会との共催

◇期 日：平成28年2月20日（土）～21日（日）

◇会 場：さくらピア（愛知県）

◇主 管：聴覚・ろう重複センターそら

①41名（全ろう重複協22名、全ろう児協19名）

②講演『発達障害の子どもの理解と支援』

講師 西平茜氏（岩崎学園支援コーディネーター）

講演『障がいのある方の権利擁護～障害者差別解消法の施行を控えた今～』

講師 新井在慶氏（田原市障害者総合相談センター長）

③実践報告・情報交換

楓とそらの取り組み 聴覚・ろう重複センター楓 柴田芳恵氏

(3) 調査研究部

ア 障害支援区分に関するアンケート調査結果をもとに、総会で意見交換を行った。

イ 聴覚・ろう重複障害者を対象とした支援についてのガイドブック作成の検討。

全日本ろうあ連盟がみずほ財団の助成を受けて実施する「聴覚障害児・者の地域生活支援に関する研究事業」について協議を開始した。